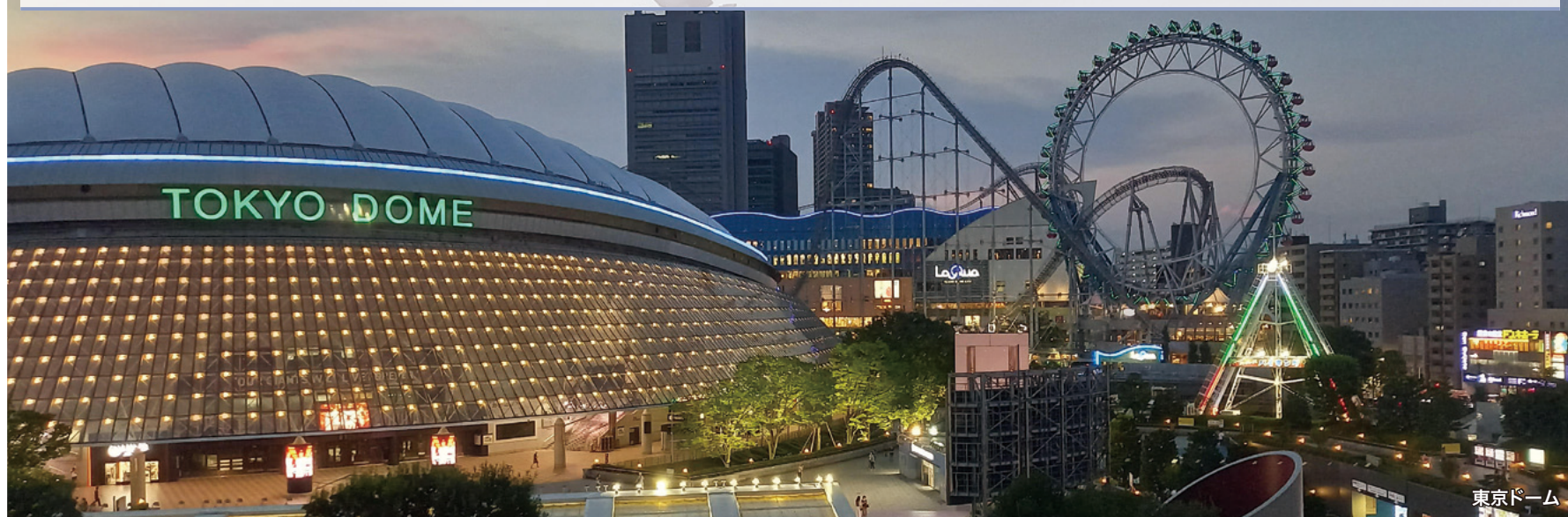


都医NEWS

Vol. 717

令和7年度 関東甲信越医師会連合会定例会 ほか	01
底流／地区医師会長連絡協議会報告 ほか	02
みどりの広場 ほか	03
ふれあいポスト	04
感染症豆知識／無声拝聴	05
地区医師会長からの一言	06

発行所 ■公益社団法人 東京都医師会 〒101-8328 千代田区神田駿河台2-5 TEL. 03-3294-8821(代) 定価 ■1部77円



東京ドーム

撮影：於曾能正博(葛飾区医師会)

第64回 十四大都市医師会連絡協議会

第64回十四大都市医師会連絡協議会が、10月18日(土)・19日(日)の2日間わたって開催された。

メインテーマを「有事と平時の医療体制～大都市医師会の役割～」として、主務地である京都府医師会の松井道宣会長の挨拶に引き続き、各分科会の討論がなされた。協議テーマは第1分科会「医師の地域偏在と診療科偏在」、第2分科会「救急医療体制」、第3分科会「災害医療支援」である。今回は極力ペーパーレス化が行われ、配布資料は当日資料のみで、ICTの活用を肌にした。少子高齢化社会において、都市部人口集中に伴う影響は医療にも及び、平時と有事の医療体制(救急医療体制、災害時医療体制)の対策を講じる必要があるこ

とから、本協議会ではタイムリーな話題となった。既に起きている医師の地域偏在と診療科偏在についても、専門医の数のバランスなどをはじめ、対策が検討されている。本協議会における継続した討議の必要性を改めて感じた。

特別講演1では、日本医師会の松本吉郎会長が「中央情勢報告」と題して講演した。高市自民党総裁が、内閣総理大臣指名を受けるか否かと言われている時局であったが、令和7年診療所の緊急経営調査結果―令和5年度・6年度実態報告―に基づき医療機関の経営状況、財務省財政審の主張に言及し、また、OTC類似薬、かかりつけ医機能報告制度、地域医療構想、医師会組織強化について広く触れた。続いて特別講演2で



は、「日本料理とは何か」と題して、菊乃井三代目主人の村田吉弘氏(特定非営利活動法人日本料理アカデミー)名譽理事長・株式会社菊の井代表取締役)より、ユーモアに富んだ講演がなされた。

全体会議の閉会にあたり、決議(案)が提示され、参加者から承認された。続いて次期主務地となる札幌市医師会の今眞人会長より挨拶があり、盛会裏に終了した。

令和7年度 関東甲信越医師会連合会定例会



9月28日(日)、新潟市のホテルにて令和7年度関東甲信越医師会連合会定例会が開催された。午前中は医療保険部会、介護保険・地域包

括ケア部会、救急災害部会の3つの部会に分かれて熱心な討議がなされた。

第3回常任理事会・第1回理事会に引き続き開催された

定例会では、新潟県医師会の上田昌博副会長の司会で、関東甲信越医師会連合会の堂前洋一郎会長による挨拶が行われた。続いて来賓挨拶として日本医師会の松本吉郎会長、新潟県の花角英世知事が登壇した。来賓紹介のあと、令和6・7年度の本連合会事業報告がなされた。更に医師会共同利用施設分科会、医療保険部会、介護保険・地域包

括ケア部会、救急災害部会からそれぞれ報告があり、決議が採択された。

特別講演は、文部科学省高等教育局医学教育課企画官の松本晴樹氏による「最近の医療政策動向について」と題した充実した講演内容で、参加者の関心を集めた。結びに次

山梨県医師会の鈴木会長長の乾杯にて華やかな雰囲気の中、懇親会が始まり、1都9県医師会からの参加者による熱く忌憚のない意見交換の場となった。快晴の天気の下、空と日本海が一つになる夕映えとともに、名残り惜しくも有意義な交流は幕を閉じた。

続く記者会見では定例会の決議が公開され、報道陣に対して東京都医師会の尾崎治夫会長からインフレ遷延に対する診療報酬対策について追加発言があった。

期連合会当番医師会となる山梨県医師会の鈴木昌則会長、関東甲信越医師会連合会の内山政二理事の挨拶をもって閉会となった。

労働者不足は喫緊の課題である。
政府のDX技術実行力に期待したい。

①ハラスメント対策の強化 ②女性活躍の推進 ③治療と仕事の両立支援の推進の3項目で、③は治療を要する労働者への取り組みであり、労働者への取り組みであり、労働

しかし、種々の要因の解決策もなく、現実には労働者人口が確実に減少していく。その中で内閣府が推進する「ムー

術の著しい発展からも、労働者不足の打開策を表出させる実行力を政府に期待したい。

（水野重樹）

標記講演会は、ぜん息患者の重症化防止、治療体制充実を図るため、本年11月15日（土）に、東京都医師会館においてハイブリッド形式にて開催する。今回は「喘息治療

れた件について（注意喚起）

(4)城南ブロック
(杉並区医師会)

〒101-8328 東京都千代田区神田駿河台 2-5
東京都医師会 広報学術課 ☎ 03-3294-8821 (代)
kouhou@tokyo.med.or.jp

☎ 03-3270-6433 (業務課)

iimu@tokyo.med.or.jp

次に、首里京子理事は麻し
ん・風しんワクチンの現状を
報告した。日本では麻しんが
2015年、風しんが202
5年9月に排除状態と認定さ
れたが、輸入例による発生が
依然として続いている。近年
は成人が感染の中心で、流行
当の時期に接種が推奨され
咽頭がん、肛門がん、陰茎が
んなどの原因となる。特に16
型・18型はがん化リスクが高
い。感染は男女ともに起こる
ため、性別を問わずワクチン
接種が重要である。性交渉開
始前の12歳から高校1年生相
当の時期に接種が推奨され

2025年には9価ワクチンが男子にも適用拡大された。東京都では女子は無料接種、男子への一部助成もあり、キャッチアップ接種も実施されているので活用いただきたい。

最後に、鳥居明理事から成人・高齢者のワクチン接種の意義として、感染症による重症化や認知症・フレイルなどの関連疾患の予防に効果があると説明した。特に高齢者では、新型コロナウイルスやインフルエンザ、肺炎球菌、带状疱疹、RSウイルスなどの感染は生活の質を著しく低下させる。現在東京都医師会では「成人のワクチン手帳」を作成しており、記録として残るだけでなく、かかりつけ医と情報共有するツールとして有効であるとした。総じて、ワクチンで防げる疾患（VPD）は積極的に予防すべきであるとして、予防医学の重要性を改めて強調した。

211
みどりの
広場変化の時代に医療を
学ぶということ

東邦大学医学部6年 笹沼雄亮



となった。

私が大学に入学した2020年は、まさに新型コロナウイルス感染症が社会に大きな影響を及ぼし始めた時期である。入学式は中止され、部活動の新歓も制限され、キャンパスライフに思い描いていた光景とは大きく異なるスタートを切った。授業はすべてオンラインで行われ、クラスのメートの顔を直接見ることができず、孤独や不安を抱え

ながらの大学生活が始まったのを今でも鮮明に覚えている。部活動（バレーボール）は、当初は全面的に中止となり、部員と顔を合わせることもできなかった。それでも状況が少しずつ落ち着き始めると、制約の中で段階的に活動が再開された。一度の練習や試合の重みが増し、一瞬一瞬を大切にできた。大会が開催され

るたびに、仲間と一緒に戦える喜びや、部として成長していく実感があった。そして今年、最後の東日本医科学学生総会体育大会に出場した際には、感無量であった。入学当初は想像もできなかったこの舞台に、仲間と共に立つことができ、結果以上に、ここまで歩んでこられた過程そのものが誇らしく、仲間との絆を深められたことが大きな財産

となった。コロナ禍は医療のあり方や社会との関係を考える契機にもなった。医療従事者が最前線に奮闘する姿を、メディアを通して目の当たりにし、自らが将来歩む医師という道の責任の重さを、入学当初から意識することになった。私たちは当たり前の日常が失われる経験を学生のうちにしたい。患者さんの生活を守ることの意味をより深く理解できるようなったのではないかなと思う。これから先、医療現場で出会う一人ひとりの患者さんに対しても、その姿勢を忘れずに向き合っていきたい。



国際子ども図書館



黒田記念館

上野の国立博物館の裏に、春と秋に開放される池を囲む庭があります。足を

踏み入れると、途端に木立の影がひんやりと肌に優しく、大樹の間からこぼれ陽

が芝と池に影を落とし、時の流れが少し止まった気がします。そこからお隣へ歩を進めると、石壁の国際子ども図書館、イチヨウの葉が映える赤レンガの黒田記念館（黒田清輝

美術館）が並び、明治のモダンと香りの素敵な散策の道に重なります。

その足で両脇をレンガ造りの芸大に囲まれた雰囲気のある通りを谷中へ向かうと、お寺が並び落ち着いた街並みが谷中霊園へとつながります。手前の二差路を左に行くと、朝倉文夫の自宅兼アトリエを利用した朝倉彫塑（ちようそ）館

があり、すぐ隣にカフェがあって心地よい休憩処です。そのまま歩を進めると、谷根千の入り口にあたる坂道「夕焼けだんだん」が待っています。振り返ると、上野の森の梢が遠くに見え、眼下には温かい町並みが寄り添うように広がっています。ここは東京下町に

ありながら村の気配がまだ感じられます。夕焼け時は、猫がのんびり横切り、惣菜屋・菓子舗からは昭和を思わせる匂いを感じます。夕刻、夕焼けだんだんに立つと、石段の下に谷中銀座の商店街が赤く染まり、人影も猫影もみな長く伸びます。買い物を提げた人々の笑いと美味しい香りが夕陽に溶け込み、町全体が柔らかな光の中に包まれて優しい雰囲気になったように感じます。その後、谷中の「吉里」の鰻、根津の「芋甚」で水白玉を味わい、谷中銀座のバーで気取らぬグラスを楽しまれば、一日の歩みは暖かい知・美・下町人情を結ぶ物語として、心に静かに刻まれます。

（下谷医師会・木村泰明）

国立博物館から谷根千へ
知・美・下町人情に
包まれて

趣味の散歩



知ってますか?

フレボウイルス
(Phlebovirus)

SFTS（重症熱性血小板減少症候群）のウイルスで、1本鎖マイナス鎖RNA（-ssRNA）を3分節（L、M、S）包容する、エンベロープを有するウイルス。SFTSウイルスの他、リフトバレー熱ウイルスやサンドフライ熱ウイルスも同じ属で、いずれも節足動物で媒介する人獣共通感染症の原因ウイルス。

バズル
請求事務
攻略のパートナー!

こたえ
当会があるから
解決が早い!

東京労働保険医療協会
会長 尾崎 治夫

東京労働保険医療協会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5
東京都医師会館 4階 TEL 03-5577-2960



八王子市医師会 長尾哲兵

生成AIの比較

早速ですが近頃話題に上る事の多いAI（人工知能）。

過去数回に渡り、同一質問「八王子観光のおすすめ」によるAI毎の回答の違いについて紹介してきました。しかし最近のAIはweb検索機能があり回答に間違いが少なくなっています。web検索のメリットは、「AIがweb検索できると、最新の情報をすぐに見つけられる。たとえば、ニッチな話題や最新ニュースも正確にわかる。検索できないAIは古い情報しか持たず、欲しい答えが見つからないことも。web検索できるAIは信頼できるデータを使って、わかりやすく教えてくれるので、知識を深めるのに非常に役立つ」

そこで今回は知識量や正確さを測るのではなく、各AI（無料版：2025年7月の段階で）に問題を出して回答を比較します。「綿菓子の高さは8センチ、レンガの高さは7センチ。綿菓子の上にレンガを置くと、高さは何センチ？」（綿菓子がレンガの重みで潰れてしまうので、単純な高さの合計ではない点がポイントです）

●（比較のためにちょっと古い）command-r-plus「15センチ」

● ChatGPT「・理論的な合計（つぶれない）→15cm・現実的な高さ（つぶれる）→約7cm
どちらを答えるかは、状況次第です。どちらが知りたいですか？」

● Grok「問題文に圧縮についての情報がないため、単純に高さを足すと仮定します。したがって、8センチ+7センチ=15センチです。最終的な答え：15センチ」

● Claude「綿菓子の高さが8センチで、レンガの高さが7センチです。綿菓子の上にレンガを置くと、高さは8センチ+7センチ=15センチになります。」

ただし、実際には綿菓子は非常に軽くて柔らかいため、レンガのような重い物体を置くと圧縮されて潰れてしまう可能性があります。そのため、理論上の計算では15センチですが、現実的には綿菓子が圧縮されて実際の高さはもっと低くなるでしょう」

● Copilot「積み重ねた高さ

・綿菓子：8cm

・レンガ：7cm

合計は15cmになります。

綿菓子は柔らかいので、実際には少し潰れてちょっと低くなるかもしれないね。ほかにもユニークな計算問題で遊んでみたい？」

最近のAIはさすがに綿菓子が潰れることを考慮していますね。ぶっきらぼうに答えだけ述べるものから、（過度に）フレンドリーな回答まで、各AIの回答の違いが表現できたでしょうか？

（「 」内はAIの回答からの抜粋です）。

（「八王子市医師会報」2025年7月 No.448 (632号)）



十和田湖畔の朝焼け

新宿区医師会 松本俊一

北多摩医師会 鎌田康太郎

進化するペット

最近、テレビの面白い動画の番組を見ていると、ペットのかわいい姿が映し出されることがある。愛くるしい顔や表情、仕草には、日頃のストレスを忘れて癒される。飼い主の行動を真似して、ダンスをしたり、ドアを開けたり、荷物を押したり。さらには椅子を押して踏台にする犬まで映し出されていた。単なる動物的行動以上のことをなす犬や猫もたくさんいるのだ。どんどんペットが進化して、確実に賢くなっている。なぜそんなに進化しているのだろうと考えると、特に犬は室内犬となり、その生活環境の変化が大きな要因な

のであろう。昔、犬は庭の片隅の小さな犬小屋に鎖で繋がれ、もっぱら番犬としての役目であった。散歩は子供たちのお手伝い。しかし今日、ちびっ子が散歩している姿を見る機会は無い。散歩はミスター&マダム達の楽しみであり社交の場なのだ。環境変化が生物の進化を生み出し、それを短時間のうちに観察できて、ダーウィンの進化論を短縮して見ているようでなんととも愉快だ。

（「北多摩医師会報」2025年2月 第629号）

無

声

拝

聴

知性・理性・教養

多くの人達の記憶から、かつての新興感染症によるパンデミックや未曾有の震災など、歴史に刻まれるべきことへの記憶が薄れてきているように感じる。嫌なことは忘れる、というのは人に備わった素晴らしい生理機能の一つ、とは思っけれども。

例えば新型コロナウイルス感染症に対峙した際の記録が、時を経るにつれ数多の医師会から発出されている。沖縄県医師会発行の内容は、現場の診療所や病院、行政、家庭、学校や企業など、多方面からの視点と、そこで何があったのかを克明に記されていて、大きな感銘を受けた。

ただこれは一つの例で、この経

験が何処でも通用するわけでは無いただろう。地域特性による差は大きく、医療資源もインフラも大きく事情が異なるだろう。多くの医師会から、その実情にあった記録が残ることは、またその記録を知ることとはとても大切な知識・知恵となるはずである。

そして、情報は正確な物ばかりではなく、例えば震災で檻が壊れ街にライオンが出没している、とかワクチンは製薬会社の陰謀とか…挙げればキリがない。これらの拡散にメディアが関与していることは確実なのだが、記事を発行する側もパニック状態かもしれないし、良かれと記事にしたことも、後には単なる中傷の意味しか無く

なってしまったようなこともあったのかもしれない。

SNSはコントロールが効かず1番厄介な媒体に見えるが、一方で確かにバイアスの最も少ない情報が得られることも確かだろう。ただし正確な情報なのかどうか、理性のある判断が出来るなら、という厳しい制限が付く。秩序なく放たれる医療情報に関して、自然科学を根拠に出来るものに関して「良いものはよい」「間違っているものには違う」と、少し声を大きく世に問うていかないとならない時期が来ているように感じる。

(坪田淳)

尖圭コンジローマと男性のHPVワクチン

尖圭コンジローマは、性交渉またはその類似行為によりヒトパピローマウイルス（HPV）が侵入し、生殖器、肛門などに発症する性感染症である。ウイルスのうち主に6型と11型（発がん性が低い種類）が原因となることが多い。

現在HPVには200種類以上の遺伝子型が存在する。男性では90%が発がん性の低い型が原因となるが、稀に発がん性の高い16型や18型が同時感染していることもある。女性では50～80%が生涯のうち一度はHPVに暴露される。

有効なワクチンが開発されているが、女性へのHPVワクチンの接種は進んでいない。男性への接種はようやく始まったばかりである。

男性がHPVワクチンを接種するメリットは、社会全体のHPV感染の広がりを抑えること。また、自身の尖圭コンジローマの発症を減らすだけでなく肛門がん、陰茎がん、中咽頭がんなどの発症を予防できること。さらに性交渉によってパートナーにHPVを感染させるリスクを減らし、子宮頸がんなどの発症を予防することでパートナーの健康を守ることである。

HPVワクチンで男性への接種が承認されているのは、4価ワクチン（ガーダシル[®]）と2025年8月から9価ワクチン（シルガード[®]9）も追加となった。

男性への接種は定期接種ではないため費用は接種者の全額負担となるが、多くの自治体で費用を助成している。海外では女性を含め多くの国で公的接種の対象となっている。そのうちアメリカ、オーストラリア、カナダ、イギリスなどを含む59カ国では男性も接種対象であり接種率も高い。

接種率向上の課題として、費用負担が大きいこと、女性だけでなく男性にもメリットがあることの認識不足、接種適合者およびその保護者の認知度が低いことなどがあげられる。今後は男性への接種の啓発と定期接種への変更が望まれる。

(文責：長尾慶治)

感

染

症

豆

知

識

東京都医師会
感染症予防検討委員会

地区医師会長からの一言

調布市医師会の紹介と座右の銘

調布市医師会長 荒井 敏



調布市医師会の紹介

調布市医師会は昭和22年に設立後、平成22年に全国の医師会として初めて公益社団法人へ移行し、令和6年に設立60周年を迎えました。正会員168名、準会員160名、名誉会員7名を擁し、調布市と連携し各種事業を展開しております。現在重点的に取り組んでいるものは次のとおりです。

1. 災害時医療

災害発生時には、市内の4病院および慈恵第三病院の敷地に緊急医療救護所を開設し、負傷者のトリアージと救護にあたります。災害対策については、調布市災害対策協議会を開催し、更なる検討を進めています。

2. 感染症対策

COVID-19パンデミック時には、調布方式と呼ばれたワクチン接種体制の構築、PCR検査体制の確立や発熱外来の設置など、調布市と協力して迅速に対応してきました。しかるべき新興感染症に備えるとともに、予防接種体制の充実にも取り組んでいます。

3. がん対策

がん検診の受診率向上を目指し、調布市がん検診体制あり方検討会でまとめた答申に基づき、令和10年度よりがん検診の見直しが行われる予定です。また、がん患者と家族への支援施策の一環として、調布市がん相談サポート事業が開始されており、がん対策全般に積極的に協力しています。

4. 高齢者医療

医師会運営のちょうふ在宅医療相談室は、医療と介護の連携を支援して地域包括システムの構築に取り組み、調布市医師会訪問看護ステーションは、幅広い年代の在宅療養患者を支援しています。また、E-Z NET CHOFU TOKYO (MCSを

用いた情報共有システム)によりクリニックの在宅医療への参入を容易にし、在宅医療の推進を図っています。

5. タバコ対策

歯科医師会・薬剤師会・ちょうふタバコ対策ネットワークと協働し、タバコ対策を推進しています。令和元年には調布市受動喫煙防止条例が施行されました。また、調布市では公費で喫煙所を設置しない方針を堅持しており、市民の喫煙率低下とタバコによる健康被害を減らす取り組みを進めています。

和して同ぜず

「君子は和して同ぜず、小人は同じて和せず」という孔子の言葉が由来で、人と仲良く調和はするが、安易に同調して自分の意見や信念を曲げることはしないという意味です。

私は、新潟県栃尾市(現長岡市栃尾地区)で生まれました。東京からするとすぐ田舎で、その当時は人口3万7千人ほどでしたが、現在は過疎化が進み1万4千人ほどに減少しています。上杉謙信が青年期を過ごした地としても知られ、油揚げが有名で、栃尾の「あぶらげ」というとご存じの方もいるかもしれません。地元の市立栃尾小・中学校から、長岡市の県立長岡高校に進学しました。長岡高校の生徒会組織は和同会と呼ばれています。生徒の自主性を重んじる学校で、生徒と教員が合同で委員会を立ち上げ制服制度廃止宣言を行い、昭和47年より生徒は自由な服装で通学していました。今思えば、長岡高校の3年間は私が成長するための大変貴重な時間だったと思います。和同という言葉を知ったのはこの時からで、以降、このように生きていきたいものだと考えはじめ、年を重ねいろいろな経験をするとともにこの思いが強くなっています。

今後も、和して同ぜず、いろいろな方々と連携・協働して医師会事業を展開していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。